

システム開発契約とセキュリティ

System development contract and Security

尾藤宏光・システム分科会・情報セキュリティ大学院大学

Abstract : Conventional system development contracts are considering contracts by applying it to a typical contract under the civil law. However, contracts related to current system development exist in various contract forms and contract methods. The special nature of system development brought disputes, lawsuits and troubles. The threats of viruses and cyber attacks aimed at individuals and companies are increasing more and more. Therefore, the system to be developed requires quality and security. In this research, I propose a model of system development contract mainly for security.

研究の背景と目的について

研究の背景について

- ◆ 情報技術の発展
- ◆ システムの多様化
- ◆ 相次ぐ紛争やトラブル
- ◆ サイバー攻撃などの脅威

従来のシステム開発契約

- ◆ 民法上の典型契約に当てはめた契約方法
- ◆ セキュリティが十分に考慮されているとは言えない。
- ◆ 日本のシステム開発における、多重下請構造が抱えるセキュリティ上の不備

Security

システム開発契約が持つ特殊性

System Security
開発段階からセキュリティを考慮

契約

Contract

法的考察からのアプローチ

- 開発規模に応じた多段階契約の活用
- ユーザとベンダの協力体制の構築
- 責任区分、セキュリティ水準の明確化
- 再委託に伴う適切な取扱い

判例研究からのアプローチ

- プロジェクトマネジメント義務の履行
- 機密情報や情報資産に応じた適切な安全管理措置
- 技術水準に沿ったセキュリティ対策

セキュリティを考慮したモデル契約の提案

再委託に対する項目

- 一括した再委託や丸投げ行為の禁止
- 業者の選定及び、開発実施体制の明確化
- 情報セキュリティに対する教育の実施

情報の取扱いに対する項目

- セキュリティ要件の確保、管理体制の確立を含めたプロジェクトマネジメントの遂行
- 取扱う情報資産の重要度に応じた、最新かつ適切なセキュリティ対策の実施

紛争の解決

- ADR (Alternative Dispute Resolution) を利用した紛争の早期解決
- サイバー攻撃等の不可抗力やリスクに応じた保険の適用